

予防接種スケジュール

ワクチン名	接種済み ☑	0歳	1か月	2か月	3か月	4か月	5か月	6か月	7か月	8か月	9か月	10か月	11か月	1歳	1歳1か月	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳	11歳	12歳	13歳	(満年齢)
不活化 B型肝炎 (母子感染予防を除く)	定期	□□□		①	②																							
生 ロタウイルス (飲むワクチン)	定期	1価 □□ 5価 □□□		①	②	③																						
不活化 小児肺炎球菌	定期	□□□□		①	②	③									④													
不活化 五種混合 (ジフテリア・百日せき ・破傷風・ポリオ・ヒブ)	定期	□□□□		①	②	③									④													①
生 BCG	定期	□					①																					
生 MR (麻しん風しん混合)	定期	□□												①														②
生 水痘 (みずぼうそう)	定期	□□												①														②
不活化 日本脳炎	定期	□□□□																										④
不活化 HPV(2価、4価、9価) (ヒトパピローマウイルス)	定期	□□□																										
不活化 インフルエンザ	任意	毎秋																										

0歳のうちに3回接種が必要。3回目は2回目から4~5か月の間隔をあけて受けます。1歳以上でも未接種の場合は、できるだけ早く受けることをおすすめします。(任意接種)

ロタウイルスワクチンには、1価ワクチンと5価ワクチンがあります。遅くとも生後14週6日までに接種を開始し、それぞれの必要回数を受けます。

ロタウイルス・小児肺炎球菌・五種混合の必要接種回数を早期に完了するには、同時接種で受けることが重要です。

1歳の誕生日が来たら同時接種で受けましょう。小児肺炎球菌・五種混合・MR・水痘の4本を同時接種で受けることもできます。

標準的には3歳から接種しますが、生後6か月から受けられます。

キャッチアップ接種(無料)は2025年3月末で終了します。早めに接種しましょう。

9価のワクチンの場合、初回接種が15歳未満なら2回又は3回接種、15歳以上なら3回接種。

小学校6年生になったら受けましょう。(定期接種の対象：小6から高1の女子)

助成の対象は、1~18歳の児童です(一部自己負担額あり)。接種対象者には詳細が決まりましたら個別通知します。(毎年秋頃)

二種混合(DT)：接種対象(11歳~12歳)には接種時期に、個別通知します。

小学校就学前の1年間の間に受けます。対象の時期に個別通知します。

9歳になる誕生日に個別通知します。

- 不活化** 不活化ワクチン
- 生** 生ワクチン
- 定期** 定められた期間内で受ける場合は原則として無料(公費負担)
- 任意** 一部自己負担額がある場合があります。任意接種ワクチンの必要性は定期接種と変わりません。
- 定期の予防接種の対象年齢
- 任意の接種できる年齢
- 同時接種：同時に複数のワクチンを接種することができます。安全性は、単独でワクチンを接種した場合と変わりません。
- おすすめ接種時期(数字は接種回数)

※異なる種類の注射の生ワクチン同士の接種間隔は最短で4週間です。(4週間後の同じ曜日から接種可)

